

令和2年12月実施 秩父若葉保育園 自己評価



分析項目	評価		評価
保育園の運営管理	3.5	事故防止安全管理	3.5
保育の内容	3.8	食育の推進	3.6
保育の計画及び評価	2.8	保護者支援	3.0
子どもの健康支援	4.6	職員の資質向上	3.4
環境及び衛生管理	4.3	年間行事への取り組み	3.0

5：優れて達成している 4：やや優れて達成している 3：概ね達成している

2：やや達成が不十分 1：全く達成できていない

【評価・総評】

今年度は、年度初めより全国的な新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、イレギュラー対応の多いスタートとなった。緊急事態宣言が発令されたことにより、春の遠足は中止となり、秋の運動会についても3/4/5歳児のみを対象とした「運動参観」という形での実施となったこと、また、職員研修についてはオンライン研修の数が少なく、「年間行事への取り組み」「職員の資質向上」について例年に比べると低評価となった。対して、「こどもの健康支援」「環境及び衛生管理」に関しては、除菌消毒作業、清掃の徹底、健康衛生チェックを毎日実施し、前年度に比べると体調不良による欠席は非常に少ない。除菌消毒や感染症への知識を生かすことができ、利用者との共有もできたと実感している。コロナ禍においてもこどもたちの発達を見極め、今まで以上に職員間のコミュニケーションを大切にしながら、安心・安全に十分配慮した保育園を目指し、こどもにとってより良い環境作りに継続的に取り組んでいく。